

目指すは「国家技能検定1級技能士集団」



株式会社 鬼頭精器製作所

EMIDAS会員番号 83448

●金属製品の製造（自動車部品試作・工作機械部品・航空宇宙部品・建築機械部品・金型部品・防衛関連、など）

所在地：愛知県豊田市中町中根50
 TEL：0565-52-3757 FAX：0565-52-8567
 E-mail：info@kitouseiki.co.jp
 代表者：代表取締役社長 鬼頭 明孝
 URL：http://www.kitouseiki.co.jp/
 設立：1963年3月 資本金：2,000万円 従業員：42名

株式会社鬼頭精器製作所は、1963年に設立以来、精密機械部品の加工を主とする金属製品加工会社だ。平成15年、鬼頭明孝氏が2代目社長に就任。それをきっかけに、協同組合豊田市鉄工会の協力のもと、国家技能検定1級技能士集団の育成を行う土壌形成に着手した。

鬼頭社長はこの取組みに、企業の業績アップ以上に大きな期待を寄せていた。「国家技能検定を取得すれば、社員が家族や地域に認められ、モチベーションアップや自身の誇りに繋がっていく。さらには、会社の社風をも変える大きな改革となる」と確信していたからだ。

最初の技能士が誕生したのは平成16年。数値制御フライス盤作業1級を取得した。その後、同社が試験会場として抜擢されティア1クラスの大手自動車部品メーカーからノウハウを提供頂くなど、1級技能士集団育成に向けた土壌が着実に整備されていった。現在では、特級技能士1名、複合技能士2名、1級技能士7名、職業訓練指導員4名など、作業員の約60%である19名の技能士が誕生している。

技能士を取得した社員には、名刺に『国家技能検定技能士』の文字を入れた。それは、社外に認められるきっかけとなり、社員からも「やる気が出る、意識が上がる」と喜びの声が相次

いだ。1級技能士取得後は、職業訓練指導員資格を取得し、後輩を育成し、通常35%と言われる平均合格率が社内では50%を超えた。現場で磨かれた技術力と、検定受験で蓄積された原理原則の理論は、確実に顧客への技術と精密加工の鬼頭精器製作所として浸透した。

「最終目標は、最年少の「あいちの名工」を出すことです」と鬼頭社長は目標を語る。「あいちの名工」として表彰されるのは国や県・地域への貢献度の高い一握りの人材のみ。中小企業でその称号を持つ人材はほとんどいない。だからこそ、鬼頭精器製作所からの輩出を狙っている。

現在同社では、新入社員に年間150時間を内外部の教育・研修時間に充て、助成金等を活用しながら育成の強化を図っている。社員それぞれに、国家技能検定1級の取得を目標に掲げさせ、自身の価値向上を推進している。また会社としては、社員全員で会社の



ブランド価値を向上させる認定 (ISO9001・愛知ブランド企業認定・エコアクション・豊田ブランド・IT経営力認定企業等)や助成金の取得にも力をいれている。

「国・県・市・その他の支援機関の情報をいち早くキャッチし、自社の将来にどんな影響を与えるのかを判断するべき」。そう語る鬼頭社長の目は、常に遠い先を見据えている。だからこそ、進化する未来のために、鬼頭精器製作所は「国家技能検定1級技能士集団」としての道を歩み続けている。

